

平成29年3月期 決算説明会資料

平成29年5月18日 安藤八ザマ



1. 平成29年3月期決算の概況

決算の概況



連結売上高 4,079億円

(前期比 +7.6%)

■ 完成工事高を中心に個別の売上高が増加

連結営業利益

370億円

連結営業利益率

9.1 %

(連結営業利益 前期比 +45.4%) (連結営業利益率 前期比 +2.4P)

■ 土木を中心とした完成工事総利益の大幅な向上

個別受注高

4,292億円

(前期比 +18.5%)

■ 土木工事:前期実績比で大幅に増加

■ 建築工事:前期実績と同水準



【連結】経営成績



平成2	28年3月期	平成29年3月期			
	実績	期初予想	実績	前期比差異	期初予想比差異
売上高	3, 792	3, 930	4, 079	+7.6%	+3.8%
売上総利益	447	428	591	+32.2%	+38.2%
(売上総利益率)	(11.8%)	(10.9%)	(14. 5%)	(+2.7P)	(+3.6P)
販売費及び一般管理費	192	208	221	+14.9%	+6.4%
営業利益	254	220	370	+45.4%	+68.3%
(営業利益率)	(6. 7%)	(5.6%)	(9.1%)	(+2.4P)	(+3.5P)
経常利益	233	209	362	+55.5%	+73.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	149	137	262	+75.4%	+91.8%

(単位:億円、単位未満切捨)

【連結】貸借対照表



	前期末 平成28年3月31日	当期末 平成29年3月31日	増減
	(1)	2	2-1
流動資産	2, 455	2, 628	+173
固定資産	548	555	+6
資産合計	3, 003	3, 183	+180
流動負債	1, 869	1, 859	Δ9
	364	317	△47
負債合計	2, 233	2, 176	△57 🗸
純資産	769	1, 007	+237
負債純資産合計	3, 003	3, 183	+180
	410	410	A 4
有利子負債(億円)	413	412	Δ1
D/Eレシオ※(倍)	0. 54	0. 41	Δ0. 13
自己資本比率(%)	25. 4	31.4	+6.0P

・受取手形・完成工事 未収入金等の増加 (+202)

支払手形・工事未払金等の増加(+17)未成工事受入金の減少(△64)

工事損失引当金の減少 (△30)

利益剰余金の増加 (+233)

単位:億円、単位未満切捨)

[※] D/Eレシオ: 有利子負債/自己資本(純資産-新株予約権-非支配株主持分)



Ⅱ. 平成29年3月期決算の詳細

【個別】完成工事高·完成工事総利益



平成	28年3月期	平成29年3月期			
	実績	期初予想	実績	前期比差異	期初予想比差異
完成工事高	355, 957	365, 000	373, 098	+4.8%	+2.2%
土木工事	122, 494	123, 000	134, 174	+9.5%	+9.1%
建築工事	233, 462	242, 000	238, 923	+2.3%	Δ1.3%
完成工事総利益	41, 672	39, 000	55, 532	+33.3%	+42.4%
(完成工事総利益率)	(11. 7%)	(10. 7%)	(14. 9%)	(+3.2P)	(+4. 2P)
土木工事	19, 957	17, 800	32, 717	+63.9%	+83.8%
	(16. 3%)	(14.5%)	(24. 4%)	(+8. 1P)	(+9.9P)
建築工事	21, 715	21, 200	22, 814	+5.1%	+7.6%
	(9.3%)	(8.8%)	(9.5%)	(+0.2P)	(+0.8P)

【個別】受注高



	平成28年3月期	平成29年3月期			
	実績	期初予想	実績	前期比差異	期初予想比差異
受注高	362, 213	390, 000	429, 286	+18.5%	+10.1%
土木工事	123, 292	150, 000	193, 008	+56.5%	+28.7%
国内	121, 583	140, 000	182, 458	+50.1%	+30.3%
海 外	1, 708	10, 000	10, 550	+517.4%	+5.5%
建築工事	238, 921	240, 000	236, 278	Δ1.1%	Δ1.6%
国内	202, 533	210, 000	211, 942	+4.6%	+0.9%
海 外	36, 388	30, 000	24, 335	∆33.1%	△18.9%

【個別】繰越高



	前期末 平成28年3月31日	当期末 平成29年3月31日	増減
繰越高	357, 123	412, 868	+15.6%
土木工事	167, 343	226, 120	+35.1%
国内	161, 205	213, 031	+32.1%
——海外	6, 138	13, 089	+113. 2%
建築工事	189, 780	186, 747	Δ1.6%
国 内	170, 373	167, 554	△1.7%
海外	19, 406	19, 193	Δ1.1%

主な受注工事(下半期)



| 熊本57号災害復旧 二重峠トンネル(阿蘇工区)工事

発注 者:国土交通省九州地方整備局

工期:平成29年3月~平成32年7月

工事場所:熊本県

平成28年度山形駅西口拠点施設(仮称)新築(建築)工事

発注者:山形県

工 期:平成29年3月~平成31年9月

工事場所:山形県

■ バンダラナイケ国際空港改善計画(フェーズ2)第二期−パッケージB

発注 者:スリランカ空港公団

工 期:平成29年4月~平成31年11月

工事場所: スリランカ

主な完成工事(下半期)



津軽ダム本体建設工事

発 注 者:国土交通省東北地方整備局

工 期:平成20年10月~平成29年3月

工事場所:青森県

到 須賀川市新庁舎建設本体工事

発注 者:須賀川市

工 期:平成26年7月~平成29年3月

工事場所:福島県

■ 東ティモール ブルト灌漑施設改修計画

発注 者:東ティモール民主共和国農業水産省灌漑水管理局

工 期:平成26年10月~平成29年3月

工事場所:東ティモール



|||. 中期経営計画の進捗状況と今期の取り組み

中期経営計画の進捗状況と今期の取り組み



	これまでの取り組み状況	今期の取り組み
	 ✓施工能力(質・量)の向上 ·ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)を活用した技術開発に注力 ・千葉に当社グループ2棟目のPCa工場の建設に着手・「BIM設計部」を設置 ・上級職長制度の整備等、協力会社との連携を強化 	・合理化・省力化・機械化に向けた技術開発、およびワンマンコントロール対応建設機械の現場への導入等を進める・千葉工場を本格稼動させ、事業を軌道に乗せる・BIM・CIMの適用現場・範囲の拡大を進める・生産性向上に向けて協力会社の体制整備・育成、連携強化を引き続き推進
◆持続的成長に 向けた取り組み	✓経営資源の確保・採用活動を強化し、新卒採用は、適正人数を確保・研修用宿泊施設(TTCつくば)を新設(平成28年6月)し、長期集合研修を拡充	・将来に向けて必要人員確保のため、採用活動に引き続き注力 ・若手、中堅社員の育成プログラムの充実を図る等、人材育成を さらに強化
	TTCつくば (TTC=Technology Training Center) 平成28年度新入社員研修風景	干葉工場
◆「やりがい」と 「ゆとり」の実現に 向けた取り組み	✓労働環境の改善・出産・育児・介護支援制度を整備・土木 4 週 6 閉所、建築 4 週 5 閉所を 8 割以上の現場で達成	・各種制度活用の促進 ・働き方改革への取り組みを促進し、時間外労働の削減や休日取得 の適正化に向けた取り組みを強化。協力会社と連携し、土木・建 築とも4週6閉所100%達成を目標とし、4週8休の早期実現を 目指す

中期経営計画の進捗状況と今期の取り組み

これまでの取り組み状況



◆社会との共存に 向けた取り組み	 ✓社会環境の変化に対する取り組み・女性社外取締役を交えて「女性フォーラム」の開催や、女性活躍推進プロジェクトチームの設置、職場環境、支援制度の整備の推進・採用に占める女性比率を15%以上 ・社外取締役を2名選任し、ガバナンス体制を強化するとともに、取締役会の実効性の分析・評価の実施など、コーポレートガバナンス・コードに対応 	・女性社員がキャリアアップしつつ長く働けるための「働きやすさ」の向上を目指し、職場環境の整備、支援制度の利用促進を進めると同時に、改善策を継続的に検討 ・引き続き女性社員の採用を進め、定年制社員に占める女性比率を平成32年までに13%以上に引き上げ ・社外取締役を増員し、ガバナンス体制のさらなる強化
◆経営・財務基盤 の安定・強化に 向けた取り組み	 ✓経営・財務基盤の安定・強化 ・中期経営計画の売上高、営業利益額・率の目標数値は平成29年3月期までに前倒しで達成 ・連結純資産は1,007億円、連結自己資本比率は31.4%まで向上 	連結純資産と連結自己資本比率の推移 (百万円) 120,000 100,000 23.7% 25.4% 31.4% 35.0% 30.0% 25.0% 20.000 60,000 40,000 54,381 64,622 76,978 100,744 15.0% 10.0% 5.0% 0.0% 10.0%

今期の取り組み



Ⅳ. 平成30年3月期の業績見通し

【連結】通期業績予想



	平成30年3月期		
	期初予想	前期比	
売上高	408,000	+0.0%	
売上総利益	53, 100	△10.2%	
(売上総利益率)	(13.0%)	(Δ1.5P)	
販売費及び一般管理費	22,000	Δ0.6%	
営業利益	31, 100	Δ16.0%	
(営業利益率)	(7.6%)	(Δ1.5P)	
経常利益	29, 900	△17.5%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	20, 000	Δ23.9%	

(単位:百万円、単位未満切捨)



連結営業利益・連結営業利益率の推移



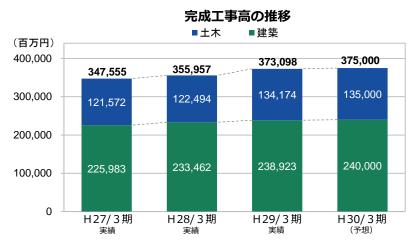
【個別】完成工事高-完成工事総利益予想



平成30年3月期

	期初予想	前期比
完成工事高	375, 000	+0.5%
土木工事	135, 000	+0.6%
建築工事	240,000	+0.5%
完成工事総利益	50, 100	Δ9.8%
(完成工事総利益率)	(13. 4%)	(∆1.5P)
土木工事	23, 800	Δ27.3%
	(17. 6%)	(△6.8P)
建築工事	26, 300	+15.3%
	(11.0%)	(+1.4P)

(単位:百万円、単位未満切捨)



完成工事総利益・完成工事総利益率の推移



【個別】受注高予想



	平成30年3月期		
	期初予想	前期比	
受注高	410,000	△4.5%	
土木工事	150,000	△22.3%	
国 内	140,000	△23. 3%	
海 外	10,000	Δ5. 2%	
建築工事	260, 000	+10.0%	
国内	230, 000	+8.5%	
海 外	30,000	+23.3%	



配当の状況



年間配当金

	中間配当	期末配当	合計
平成 28 年3月期 (実績)	5 円	7 円	12 円
平成 29 年3月期 (予定)	9 円 _(実績)	11 д	20 円
平成 30 年3月期 (予想)	10 円	10 円	20 円





本資料はIRのためのスライド集であり、<u>当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的とし</u>たものではありません。

本資料は株式会社 安藤・間の事業及び業界動向についての株式会社 安藤・間による 現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。 これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性を含んでおります。